

令和元年度 八幡小学校 教職員 非違行為防止研修 その2

八幡小の教職員として、子どもたち、保護者・地域の皆さんに信頼されるように、4月から毎月、非違行為防止研修に取り組んでいます。今回は、2回目の報告です。

(□□□□は、非違行為防止研修後の職員の感想)

- 1 1月・・・非違行為(暴言)の事例をもとに、問題点や自分自身の今後の対応などについてワークシートに記入し、意見交換した。また、「効果的な指導に結びつく項目」のチェックリストを使い、普段の指導について見直した。

使う言葉に気をつけたい。周りの先生が、大声で指導している場面に出くわしたときは、放課後などに「何かありましたか?」と、お互いにいつでも聞ける関係づくりをしたい。

- 1 2月・・・年末を控え、綱紀粛正についての通知をもとに、業務の不適正処理や飲酒運転など違法行為の防止などについて読み合わせ、非違行為の防止を確認した。

- 1月・・・外部講師として、千曲警察署の交通課の方を招いて、飲酒運転や交通事故の防止などについての研修会を行った。また、オブザーバーとして、PTA会長さんにも同席していただき、研修に参加していただいた。

運転していて、ヒヤッとすることが時々ある。飲酒運転はもちろんしてはいけないが、通勤や私用の運転でも、気持ちを引き締めていかないと、と思った。



- 1月・・・スクールセクハラ防止について、事例をもとに読み合わせを行い、問題点を考え合うとともに、「性に関する自己チェックシート」で自分自身について振り返った。

- 2月・・・非違行為防止研修で各自が書いた感想を読み返し、1年間の研修のまとめをした。

非違行為防止について、具体的に研修が行われ、「自分のこと」として考える機会が多かった。特に、飲酒運転の研修での「ゴーグル」体験、体罰の具体例。交通事故についても、身にしみた。「つい」がないように、気をつけようと思う。

ほんの少しの気持ちの行き違いや油断によって、取り返しのつかない事態になることも多い。常に自分を振り返りながら仕事をしていきたい。何より、子どもの気持ちを傷つけないように心がけない。

自分自身の感想を読みながら、一歩間違えると、その先はとんでもない未来が待っているということを、研修を通して痛感できた。非違行為自体をしっかりと理解し、大切な物は何かを理性をもって考えていきたい。

非違行為は、身近にいつでも存在するかもしれないからこそ、その都度、自分事として考えることができた。自分自身が気をつけるのはもちろん、同僚にもさせないようにしていきたい。社会人として、人として、恥ずかしくない自分であり続けたい。

3月は、スピード違反の事例をもとに、交通違反の防止について研修する予定です。こうした研修を重ねながら、子どもたち・保護者・地域から信頼される八幡小の教職員を目指しています。